

湿式タイヤ洗淨機 設置マニュアル

【鋼板製簡易ピット設置手順】

ショベル(バックホウ)で地面に縦5m×幅3m×深さ1mを掘削。

底部に基礎用碎石を厚さ150mm～200mm敷いて転圧。

その上にコンクリートを厚さ50mm以上打設。

養生後、タイヤ洗淨機用鋼板製簡易ピットを水平に設置。

簡易ピット外周を埋め戻し、転圧。

簡易ピット前後(車輛進入路)に敷鉄板を設置。 (N値30以上の地盤土質にて施工願います)

ピット設置後、ピット内にタイヤ洗淨機を据付。

【タイヤ洗淨機本体設置手順】

タイヤ洗淨機をピットに吊り込み後、本体とピットの間に「木杭」等を4ヶ所打ち込みしっかりと固定する。

本体を吊上げる場合は、専用の玉掛ワイヤーまたは、下記の吊り具を使用ください

- ・玉掛ワイヤー 18mm×2500mm 2本(排泥コンバ側)、18mm×3000mm 2本
- ・玉掛用シャックル 3t用 4個

機内給排水ホースを接続。(給水口1/2×15に水道ホース接続又は、水道配管する)

水道水以外の液体や海水などを使用しないで下さい。

電源ケーブルを接続。

- ・本機入力用に4芯×8mm²以上の入力ケーブルを制御盤内端子番号「R・S・T・G」に接続してください。
- ・アースはD種接地工事をして下さい。

パトライトの設置。

- ・パトライトをドライバーから見やすい位置に設置してください。
- ・パトライトのケーブルを制御盤端子番号「109」・「SC」に接続してください。

絶縁抵抗値を測定してください。

- ・本機制御盤内の「主回路部」の絶縁抵抗値の測定を行ってください。
- ・1M以上あれば正常です。
- 絶縁測定は「制御回路」側で行わないで下さい。故障の原因となります。

試運転を行ってください。